送　辞

例年より寒冷な冬を越え、日差しの中に春の気配が感じられる季節となりました。希望あふれる今日の良き日に、新たな目標に向かいこの須賀川高校を旅たとうとしている卒業生の皆様、ご卒業おめでとうございます。在校生一同、心よりお祝い申し上げます。

今先輩方の心中は、様々な感情で溢れていることと思います。そして、仲間たちと築き上げてきた三年間は、掛け替えのない思い出となっていることでしょう。

天候に恵まれた体育祭では、各クラス一丸となり同じ T シャツに身を包み、他クラスと切磋琢磨する姿が脳裏に焼き付いています。休み時間や放課後の時間を使い練習し、本番では妥協せず勝利を目指す姿から、目標実現のため努力を惜しまない大切さを学びました。

部活動では、私たちの先頭に立ち、引っ張ってくださいました。それだけでなく、悩みがあるときは声をかけ、私たちと同じ目線で相談を聞いてくださいました。また、進路実現に向け、多くの先生たちとの面接練習、教室や図書室で遅くまで、勉強に励んでいる姿を見てきました。そのように何事にも真剣に向き合い、乗り越えてきた先輩方がこの須賀川高校最後の卒業生であることが誇らしく思います。私たちも先輩方のように何事にも真剣に向き合い、乗り越えていけるよう精進して参ります。

次に、私の最も好きな言葉をご紹介いたします。「どんなに暗くても、星は輝いている。」という、エマーソンの言葉です。台風の影響で公開文化祭が延期、コロナウイルスの影響で行事の中止・縮小を余儀なくされました。しかしそのような中でも、仲間たちと協力し支え合い、輝かしい絆や思い出を築き上げてきた先輩方なら、この先どんな困難があろうとも乗り越えていけると信じています。

最後となりましたが、皆様のご健康とますますのご活躍をお祈りし、送辞といたします。

令和四年三月一日

在校生代表